



歯ろはろ～新聞



発行/ 多田歯科医院

高松市木太町792-6

☎815-2010

ホームページ <http://www.tadashika.jp/>

今年は暖くなるのが遅かったためか、待ち遠しかった“春”がようやくやって来てくれたように思えません。さて、4月は「新年度の始まり」でもあります。新しいスタートに不安を覚える新入生や新入社員の方も多いことでしょう。でも、新しい出会いは“未知の刺激”や“知見”を自分自身に与えてくれるものでもあるのではないのでしょうか。そして、人との出会いは“自分自身の糧”になることも多くあります。そういった意味でもこの季節は、もしかしたら“今後の自分自身を創り上げるベース”になる季節なのかもしれません。そんな方々に恐縮ながらひとつアドバイスをさせて下さい。それは、『新しく出会った人にはできるだけ減点方式ではなく、“加点方式”で向き合ってほしい』ということです。例えば、「この人のここが嫌だな、ここが合わないな…」となってしまうと、その人との関係がそのまま塞ぎこんでしまいます。逆に、「この人はここが面白いな！自分とは考えがまるで違う、オモシロイ！」というように良い所を見つけて加点をしていくと、合わないところも含め、その人としっかり向き合えるようになるのではないのでしょうか。近頃は“出会いの形”も大きく変わり、インターネット上のソーシャルネットサービス（SNS）の「ミクシー」や「フェイスブック」で、旧友と何十年かぶりに偶然出会ったなんてお話もよく耳にしますが、おそらく今後は“出会いの形”や“出会った後の関係”もどんどん形を変えていくことでしょう。ちなみに、『出会う』と『出逢う』は同じ意味のようですが、ニュアンスは微妙に異なるそうです。どちらの言葉も“偶然巡りあう”ことを指す言葉ですが、『出逢う』の方がより親しい人との巡りあいを意味するそうです。そうすると、『出逢う』は“出会いの後から振り返って”そうなるものなのかもしれませんね。年月を重ね、仲の良い友達や大事な人と始めて出会った時を思い出すと、なぜだか嬉しい気持ちになったりもします。そういった気持ちこそが『出逢い』なのかもしれませんね。新しい始まりを感じる4月…、皆様にとって良い“出逢い”がありますように！

あなたも“**歯科通**”になれる…!?

?? 歯医者が出題する“**歯とお口**”のクイズ ??

ハンバーグ・ラーメン・カレーライス…、現代人が好むメニューはあまり嚙まなくても飲み込めるものが多いですね。現代人が1食で嚙む回数はおよそ“**620回**”なんだそうです。

それに対し、今から約1800年前の邪馬台国で、女王“**卑弥呼**”が主に食べていたメニューは「**蒸したもち米**」「**くるみ**」「**栗**」「**長いも**」でした。さて、ここでこんな問題を出題！



邪馬台国の女王“**卑弥呼**”が食べていた1食のメニューを食べ終わるまでに、“**噛んだ回数**”はいったいどれくらいだったでしょう？ 下の4つの中から選んでみて下さい。

① **620回**

(現代人とほぼ同じ)

③ **2590回**

(およそ4倍)

② **1610回**

(現代人のおよそ2倍)

④ **3990回**

(およそ6倍)

